

ソデイカ情報

沖縄県水産海洋技術センター

901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
 TEL : 098-852-4530・4531 FAX : 098-852-4533
 E-mail : xx049430@pref.okinawa.lg.jp
 http://www.pref.okinawa.jp/fish/

標準和名:ソデイカ
 (ツツイカ目ソデイカ科ソデイカ属)
 英語名 :Diamond-back Squid
 学名 :Thysanoteuthis rhombus



2018 (平成30)年 3月 第13号

1. 県内の概況(2007-2008年漁期～2016-2017年漁期) ※漁期11～6月

2016-2017年漁期は、平年(過去10漁期の平均:2,180t)に比べると、「やや少」ない漁獲量(1,811t)でした。量が2,000tを下回ったのは、過去10漁期で今漁期を含めて3漁期のみで、今までで3番目に少ない漁獲量でした(図1)

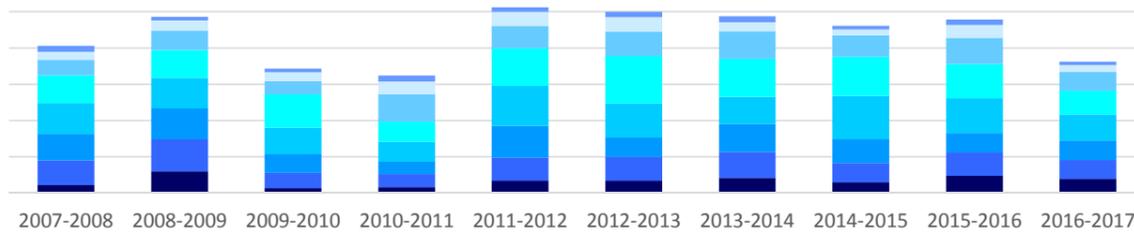
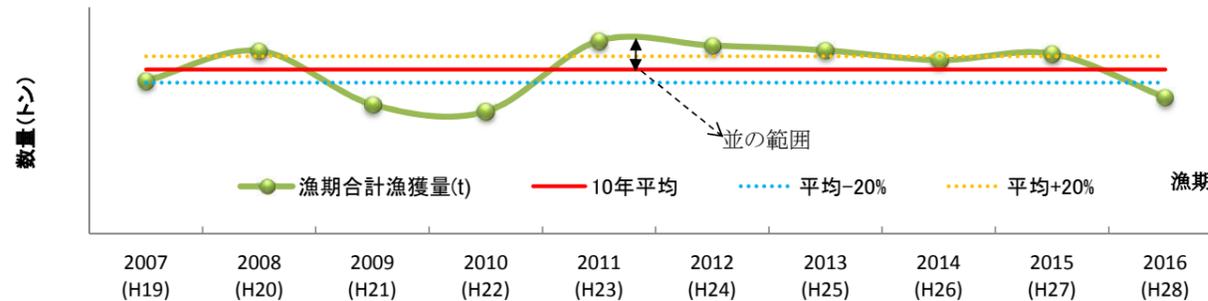
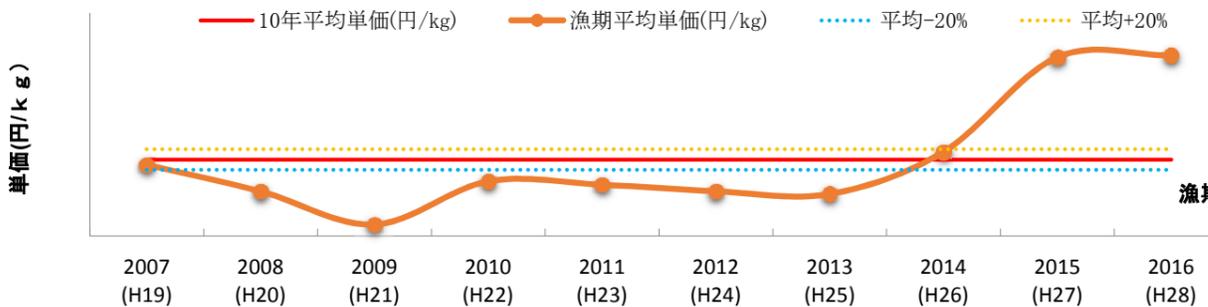


図1:過去10漁期の月別漁獲状況



漁期	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)
漁期合計漁獲量	2,030	2,430	1,717	1,622	2,563	2,501	2,437	2,307	2,391	1,811
程度	並	やや多	少	少	やや多	やや多	やや多	並	やや多	やや少

図2:過去10漁期の漁期別漁獲状況と評価(※2)



漁期	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)
漁期平均単価	624	541	437	573	561	541	533	665	963	969
程度	並	安	安	やや安	やや安	安	安	並	高	高

図3:過去10漁期の漁期別単価状況と評価(※3)

漁獲状況と単価について分析したものが図2および図3です。過去10漁期の漁獲量は平均2,181トンで、単価は641円。2015-2016年漁期と2016-2017年漁期は単価が急上昇しています。本県のソデイカは冷凍流通であるため、漁獲量の減の上昇に結び付かないことがあります。

※図2,3:沖縄県農業研究センター平成25年度「普及に移す技術」の「県中央卸売市場における対平年値程度表示システム」を利用して作成したものです。

2. 全国の概況(2002年～2017年) ※暦年(1～12月)集計

2002～2017年までの全国のソデイカの漁獲状況について取りまとめた結果は図4のとおりです。過去16年間の漁獲量は、2,500～5,500トンの漁獲があり、平均漁獲量は3,064トンでした。

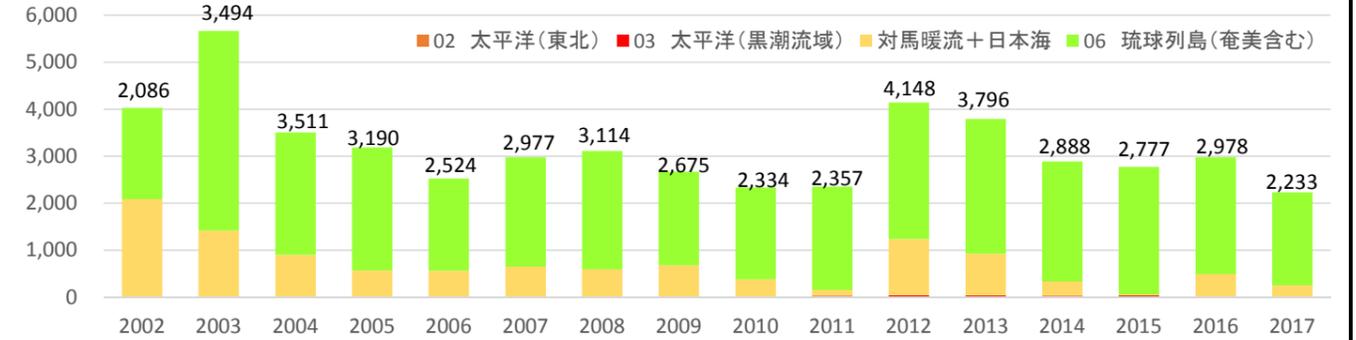


図4:2002年～2017年までの全国の漁獲状況(海域ごとの集計)

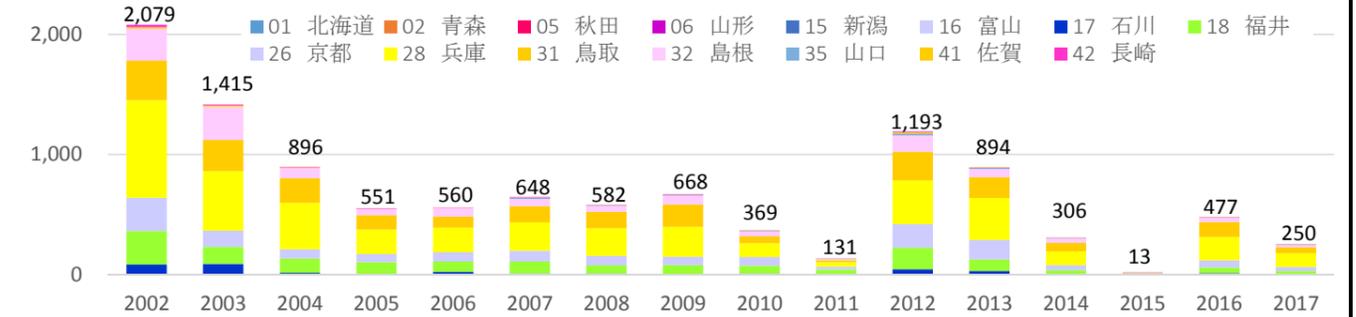


図5:2002年～2017年までの日本海～対馬暖流海域の漁獲状況(都道府県別集計)

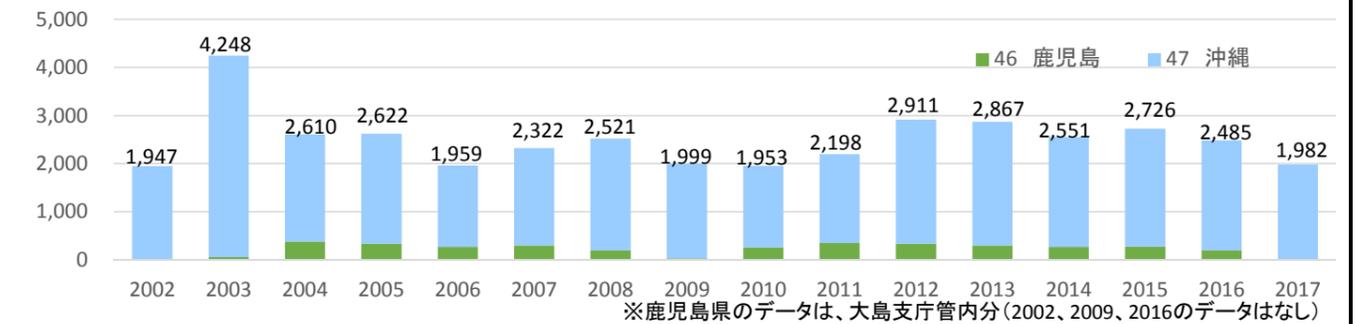


図6:2002年～2017年までの琉球列島周辺海域の漁獲状況(都道府県別集計)

図5は日本海～対馬暖流沿岸の漁獲状況を道府県別に取りまとめたものです。年変動が大きいのが特徴で、漁獲の多い年と少ない年の差が大きいです。太平洋側では統計情報として集計できないところもありましたが、漁獲の記録についての情報はありました。また漁獲は主に東京都(小笠原諸島)のものでした。

図6は琉球諸島周辺海域の漁獲状況をまとめたものです。漁期は同じですが、他の都道府県との集計の都合上、暦年(1～12月)で集計しています。2,000～4,000トン程度の漁獲があり、平均して2,493トンの漁獲がありました。

※本資料の作成に当たっては、34都道府県(北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・富山県・石川県・福井県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・兵庫県・和歌山県・鳥取県・島根県・山口県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県)の水産研究機関のみなさまからのご協力をいただきました。